

〈効能・効果〉

(1) 頭痛・歯痛・
抜歯後の疼痛・
咽喉痛・耳痛・
関節痛・神経
痛・腰痛・筋肉
痛・肩こり痛・打
撲痛・骨折痛・ね
んざ痛・月経痛(生
理痛)・外傷痛の鎮痛
(2) 悪寒・発熱時の解熱



〈成分・分量〉

1日量(8錠)中
アセトアミノフェン
.....600mg
エテンザミド
.....540mg
無水カフェイン
.....140mg
アリルイソプロピル
アセチル尿素...120mg
添加物として、ヒドロキシブ
ロピルセルロース、クロスCMC-Na、
ステアリン酸Mg、タルクを含有する。

第2類医薬品



大峰 カルミン錠A

〈用法・用量〉

15歳以上.....1回 4錠 7歳以上15歳未満.....1回 2錠
5歳以上7歳未満.....1回 1錠 5歳未満は服用しないこと。
1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさせて服用する。服用間隔は
6時間以上おくこと。※小児に服用させる場合には、保護者の指導監
督のもとに服用させること。

《保管及び取扱上の注意》

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してくだ
さい。(2) 小児の手の届かない所に保管してください。(3) 他の容
器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わ
る。)(4) 配置期限を過ぎた製品は服用しないでください。

製造販売元 大峰堂薬品工業株式会社 紙 外袋
奈良県大和高田市根成柿574 0745-22-3601(代)

⚠《使用上の注意》

解熱鎮痛薬

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)
1. 次の人は服用しないこと (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたこ
とがある人。(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそく
を起こしたことがある人。2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医
薬品も服用しないこと (他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬)
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと (眠気あらわれるこ
とがある。) 4. 服用時は飲酒しないこと 5. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠している
と思われる人。(3) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザに感染している
又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。(4) 高齢者。(5) 本人又は家
族がアレルギー体質の人。(6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがあ
る人。(7) 次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この袋を持って医師、歯科医師又は
薬剤師に相談すること

(1) 服用後、右の症状があらわれた場合
まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の
診療を受けて下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青 白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン 症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状 が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

(2) 5~6回服用しても症状がよくならない場合
副作用被害救済制度 ☎ 0120-149-931

配置期限

2回分 8錠入 ¥250. 品目番号 奈良9-130-2巻 SN-8A

